

師走(しわす)



いよいよ今年も最後の月『師走』となりました。師走は当て字で、師走の主な語源説として、師匠の僧がお経をあげるために、東西を馳せる月と解釈する「師馳す(しはす)」。この説は、平安末期の「色葉字類抄(いろはじるいしょう)」に、「しはす」の注として説明されているようです。その他にも、「年が果てる＝年果つ(としはつ)から変化した説」、「きっちり仕事をすべて終える＝仕極つ(しはつ)が変化した説」、「季節が終わる＝四季が極む＝四極(しはつ)が変化した説」などがあります。どの説もそれらしく思えるのですが、なぜ「師走」という漢字があてられたのかが不明瞭です。やはり「先生も走り回るほど忙しい」から師走、というのが最も覚えやすいでしょうかね。

さて、12月は保護者懇談があります。先生たちもその準備に大忙しです。特に3年次生は、間近に迫った大学入試に向けて最後の追い込みに入っています。ちまたでは、クリスマスに正月と心も浮かれ気分で、何かと慌ただしいこの時期ですが、しっかりと腰を据えて、周りに惑わされることなく1日1分1秒を大切に過ごしてください。1. 2年次のみなさんも、後期中間考査や11月進研模試の結果をしっかりと振り返り、保護者懇談での担任からのアドバイスを真摯に受け止めて、冬休みを有効に過ごしてほしいと思います。

<3年次生へ>

何度も同じことを話していますが、『あと〇〇日しかないので諦める』と考えてしまうのか、『まだ〇〇日あるので最後まで粘ろう』と考えて取り組むのでは、結果が異なります。大げさに言えば、人生を左右するかもしれません。一日の中で、センター演習に取り組んでいる時間が長くなっているわけですが、各教科の時間配分や解く順番など、自分にあった方法を身につけることも考えて取り組んでください。

センター演習は、「**習うより慣れろ**」です。

最後の模試が終わりました。今まで通り見直しをしっかりとやって下さい。現時点での『**伸びしろ**』は、ケアレスミスがあった部分です。見直しをしてそれに気づけば、得点に加算できます。まだまだ、『伸びしろ』はたくさん詰まっているはず。過去の模擬試験をもう一度解いてみると、以前は解けなかったが、現在は解けるようになっていくことがあります。まだできなければ、そこをもう一度やってみようとする。それが『伸びしろ』です。ぜひ、これまでの模擬試験の問題をもう一度やってみてください。

<1年次生&2年次生へ>

冬季休業中の過ごし方のポイントは、次の2つです。

- ① 学校の課題(宿題)は、できるだけ年内に終わらせるようにする。
また、1月6日(土)～8日(月)には、もう一度すべてを見直すことに心がける。
- ② 自身の学習として、苦手教科・科目や苦手分野の学習を集中的に行う。
模擬試験の結果から、自分が取り組むべき教科・科目や分野を考えてみよう。



12月の進路に関する行事

- 土曜補習(全年次) : 12/2(土), 9(土)
- 3年次全統センタープレ模試 : 12/3(日) (中部学院大学)
- 3年次受験スケジュール作成 完成: 12/5(火)総合学習
- 3年次冬季補習 : 12/15(金)～21(木), 16(土)17(日)、23(土)24(日) (詳細は別途)
- 2年次小論文講座: 12/5(火), 12(火)総合学習 (12日は小論文模試)
- 1年次キャリア教育 : 12/7(木)LHR 社会人基礎力プログラム①

<進研総合学力テストの活用法>

～2年次の判定について～

2年次、秋の進研総合学力テストは、5教科受験でした。

しかし、志望校の判定は次の教科をもとにA～Eのアルファベットで示されています。

国公立大学；英語・数学・国語 3教科

私立大学の文系学部；英語・国語 2教科

私立大学の理系学部；英語・数学 2教科

つまり、実際の受験科目と異なるので、判定のみを鵜呑みにすることは、避けるべきです。現在の判定について、次のように考えるとよいでしょう。

A 滑り止め校と考えた方がよい。

なおBF（河合塾のボーダー）の大学であれば全員A判定です。

B 現時点での学力相応校？

→弱点分野を補強する対策をするとよい。

C 現時点での学力相応校？

→弱点科目を補強する対策をするとよい。

D 当面、目標とする大学？

→基礎教科（英数国）をさらに補強するとよい。

E 得意科目を意図的につくること。

～設問別得点率復習法について～

次に、設問別得点率を参考とした復習方法について、紹介します。

Q；次表の例の場合は、第1～4問の内どの問題の分野から復習するとよいと考えますか？

例	得点	全国平均点	差
第1問	5	4.8	+0.2
第2問	14	8.3	+5.7
第3問	10	6.9	+3.1
第4問	8	8.8	-0.8
合計	37	28.8	+8.2

個人成績表には、各設問別の得点と全国平均点も記載されています。

そこで、その差を見て弱点分野を復習するという学習方法です。

A；この例の場合は、まず第4問の分野を問題集で復習することです。

この方法は、理科・数学、地歴などで有効な方法といわれています。